

1	<p>平仮名・片仮名ボード</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・なぞり書きや視写の学習の前段階で、字体の認知を高めることを目的とし、文字のマッチングに使用した。駒の後ろには平仮名が書かれているため、一文字ずつ確認しながら進めることができる。
2	<p>絵・名前合わせ</p> 	<p>平仮名は読めないが、絵合わせができる児童向けに作成。いろいろな種類のシートから自分の好きなシートを選び、シートに貼り付ける。食べ物や道具、乗り物、建物などの名前も覚えることができる。</p>
3	<p>食べ物絵カードマッチング</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・いくつかの中から、同じ食べ物の絵を見つけてマッチングし、絵を見てその食べ物の名称を言ったり、同じ食べ物の絵を指さしたりして使う。 ・この教材を使う児童が好きな食べ物をたくさん入れて作った。「貼る」感覚が好きなので、絵カードの裏に『カーペットのズレ防止テープ』を貼り、ペタッと貼る感覚をもたせた。
4	<p>ミニチュアと平仮名のマッチング</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・休み時間に興味をもって遊んでいるままごとの材料をきっかけに、平仮名の学習にも興味をもてたらと考え、作成した。 ・平仮名は、フロアマット固定用のテープを使用して付けてあり、入れ替えが簡単にできる。
5	<p>平仮名のマッチング</p> 	<p>アイスのへらについた平仮名を並べていくことで、平仮名の表記と読みをつなげていくねらいがある。</p> <p>切り込みで、文字の数を示す。アイスのへらを使って、言葉を音に分解したり、音を言葉に合成したりしていく。</p>

6	<p>仲間分け絵カードマッチング</p> 	<ul style="list-style-type: none"> 好きな果物と野菜を楽しみながらマッチングし、仲間分けの学習をすることをねらいとして制作した。 果物や野菜カードを貼る部分にイラストを入れて分かりやすく示し、一人で取り組めるようにした。裏面はイラストを入れず枠のみとなっているので、難易度を変えることもできる。
7	<p>平仮名</p> 	<ul style="list-style-type: none"> 書くところに白い余白があると、余白を埋めようとして関係の無いことを書いてしまうので、文字を白抜きにした。白抜きからはみ出してしまうこともあるが、平仮名を意識して書けるようになってきた。また、イラストの名前も言葉に言うようになった。
8	<p>言葉の学習</p> 	<p>発語が少なく、ひらがなを読める児童を対象としてこの課題を作成した。絵カードを見せてから、二つの文を選択できるよう提示した。課題に慣れてきたら、文を先に提示し、絵カードを選択する、文を組み合わせるなどして2語文程度の習得につなげたい。</p>
9	<p>名前に合わせて平仮名を並べよう</p> 	<p>イラストや写真を見て、名前に合わせて平仮名チップを並べる。初めは、1枚ずつ行い、慣れてきたら複数枚のカードを同時に並べ、たくさんの平仮名チップの中から正しく名前の順に並べられるよう学習する。</p>
10	<p>平仮名文字シート</p> 	<p>身近な物の名称を一文字ずつ並べて構成。ひらがな文字の読みを覚えること、身近な物の名称を文字で表すこと、一音ずつはっきり発音することなどが学習できる。</p> <p>マグネットで取り外しできる文字なので楽しく、また穴埋めさせる文字をマグネットで隠すことで難易度を変えることができる。</p>